

令和5年度

NPO 美しい田園21 活動記録

# 1. 東北支部

## 耕作放棄地解消活動(大根栽培:播種作業)

令和5年8月23日(水)午前10:00から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の播種作業が行われ、30名(会員18名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、今年度の最初の作業として、播種作業を行いました。



播種作業



播種作業



## 耕作放棄地解消活動(大根栽培:追加播種・消毒作業)

令和5年9月13日(水)午前10:00から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の追加播種・消毒作業が行われ、25名(会員15名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、猛暑で発芽が悪い状況となったため、追加の播種作業を行うとともに、消毒作業を行いました。



追加播種作業



消毒作業



## 耕作放棄地解消活動(大根栽培・除草・追肥作業)

令和5年9月29日(金)午前10:00から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の除草・追肥作業が行われ、14名(会員9名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、大根の生育の妨げになる雑草の除去作業を行うとともに、追肥作業を行いました。



除草作業



追肥作業



## 耕作放棄地解消活動(大根栽培・除草・消毒作業)

令和5年10月18日(水)午前10:00から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の除草・消毒作業が行われ、28名(会員15名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、大根の生育の妨げになる雑草の除去作業を行うとともに、消毒作業を行いました。



除草作業



消毒作業



## 耕作放棄地解消活動(大根栽培:収穫作業)

令和5年11月21日(火)午前10:00から、宮城県加美郡加美町の薬菜(やくらい)山麓地区において、NPO法人美しい田園21東北支部主催の耕作放棄地解消活動として、大根の収穫作業が行われ、78名(会員35名)が参加しました。

この活動は、国営農地開発事業によって、S41～S48年度に開発された薬菜山麓地区における耕作放棄地解消及び農村地域振興を目的として、NPO法人美しい田園21東北支部が毎年継続的に行っているもので、この地域の名産となっている「やくらい高原大根」を栽培しています。

今回は、今シーズン最後の作業となる収穫作業を行いました。



収穫作業



選別作業



## 2. 関東支部



## 第 26 回「千葉の水回廊ウォーク&疎水百選 印旛沼ウォーク」

令和 5 年 4 月 1 日(土) 午前 9:30 から新検見川公園から大和田機場まで行われた NPO 法人ちば歩こう会主催の第 26 回「千葉の水回廊ウォーク&疎水百選 印旛沼ウォーク」に 334 名(うち会員 113 名) 参加しました。

花見川は、印旛沼干拓事業において、印旛沼の洪水を東京湾に流すため建設された排水河川です。この花見川沿いの環境保全を目的として、散策路を歩きながら周囲のゴミを見つけながら拾い集め、ゴールの(独)水資源機構の大和田機場にあるゴミ集積場所では、集めたゴミをチェックしながら適切に分別を行いました。今年は晴天に恵まれ、散りかけた桜の下での活動となりました。少し汗ばむような春の陽気のなかで、自然に触れながら活動することができました。



ゴミを拾いながら歩く参加



ゴミの分別作



沿道のゴミを拾う参

## 令和5年度 第1回御前山ビオトープ育成活動

令和5年6月7日(水) 午前9:30から御前山ビオトープ及び、御前山ダム湖周辺で行われた、御前山ダム環境センター主催の第1回御前山ビオトープ育成活動に62名(うち会員56名)参加しました。

本活動では、御前山ダム建設時にダム周辺に生育していた希少種を移植した御前山ビオトープ及び、ダム湖周辺遊歩道等の保全活動を年2回実施しています。

今回、田園21会員に広く周知した結果、田園21関係者56名の参加がありました。作業は、取水口、ビオトープ及び周辺及びダム湖周辺の各班に分かれ、用水源の溪流の護岸や流路の整備、ビオトープ内の畦の漏水補修や除草、ダム湖周辺では、本活動で植栽し大きく育った山桜の枝払いや除草・清掃を行いました。

作業終了後には、地元農家の方から差し入れのお弁当を頂き、次回11月にむけては、多くの参加があれば遊歩道整備や間伐作業等、幅広く実施したい旨の主催者挨拶もあり、本活動への地元の理解と期待を改めて知る1日でした。



用水源の溪流整



桜の木の枝払



ビオトープ内の漏水補修、除草



## 令和5年度第2回御前山ビオトープ育成活動

例年、春と秋に実施されている御前山ビオトープ育成活動の第2回目が令和5年11月8日(水)9時30分から、ダム環境センターとNPO 法人美しい田園 21 関東支部との共催により、64名(うち田園21会員54名)の参加により開催されました。

本活動は、御前山ダム建設時にダム周辺に生育していた希少種を移植した御前山ビオトープが他の野草に負けないよう適正に管理(順応的管理)すること及び植樹した山桜や老朽化した施設の補修を目的として例年実施されています。今年度は、これまで参加していなかった田園 21 会員にも改めて周知した結果、参加者が大幅に増加し、より多くの作業分担が可能となり活動内容を充実することができました。

今回は、「台風13号(9月)関連豪雨で被災した取水口の修復」、「ビオトープのイノシシで荒らされた箇所(箇所)の補修」、「湿地の草刈りと選抜草抜き」、「林地の植生保護区の雑草・雑物の除去」、「休憩施設のベンチ補修」、「御前山ダム公園の桜の剪定等」に分かれて作業を行いました。

作業終了後には、地元農家から参加者に対して季節野菜の差し入れがある等、田園 21 の地域貢献活動が地元で理解され、感謝されていることを伺い知ることができました。



取水口の補修作業



取水口修復後



御前山ダム公園桜の伐採状



湿地の草刈りと選抜草抜き



作業終了後の集合写真

### 3. 北陸支部

## 福島潟クリーン作戦

令和5年4月8日(土) 午前 9:00 から福島潟(新潟市北区前新田地内)で行われた、福島潟環境保全対策推進協議会(3市3土地改良区1漁協)主催の福島潟クリーン作戦に約600人(うち会員12人)参加しました。

『守ろう、美しい福島潟』をスローガンに今年も「第44回福島潟クリーン作戦」が桜の散り始める4月8日に開催されました。生憎当日は強風が吹く寒い曇模様にも関わらず、長靴、雨具姿の参加者が続々集まってきました。

今年もコロナ禍のため、恒例の全体集会もありませんでしたが、参加者は受付と集合写真を済ませた順に、活動場所に移動後、早速に清掃活動が開始されました。

作業は、主催関係者による漁船11隻による水上部作業と、一般参加者による陸上部からの両面作業により効率的に展開され結果、概ね1時間強で終了しました。

寒い中での清掃作業大変ご苦労様でした。来年もお会いしましょう。



集合写真(建設協会の皆さん)



水陸連携の作業状況



会員の活動成果



仮置き場での集積状況

## 柏崎周辺(完了)地区 後谷ダム草刈り作戦

令和5年9月3日(日)午前8:00から新潟県柏崎市西山町別山で行われた、後谷ダムの地元・後谷集落主催の柏崎周辺地区後谷ダム草刈り作戦に11人(うち会員は3人)参加しました。

酷暑が続く9月3日(日)に新潟県・柏崎周辺(完了)地区の後谷ダムにおいて、地元集落が行うダムサイトの草刈り作戦が開催され、北陸支部会員3名が参加して来ました。

当該活動は平成21年にダムの完成を祝いロウソクの灯でダムをライトアップするイベント“万灯会(マントウエ)”の前段作業として始まった活動です。令和4年から NPO 田園21北陸支部の活動として正式認定された支援活動ですが、それ以前は事業やダムに対する種々の思いから有志が自主的にこの活動に参加して来ており、令和27年から数え9か年を数える支援活動です。

今年の猛暑と少雨から新潟県内各地のダムは貯水率がほぼゼロの水不足の状況ですが、ここ柏崎周辺地区はお盆過ぎに稲刈りが始まる県内一の早場米地域の為、現時点で他地域に比べダム依存度が低い状況となっており、事業効果が度々報道されております。

作業当日は遠く石川県珠洲市から駆け付けた2名の会員のほか NPO 会員計3名が猛暑の炎天下でかつ法面と言う悪条件の草刈り作業でしたが、手慣れた地元集落の人達のリードで、熱中症などで体調を崩す者も出ず、昼前には無事に作業を終了することが出来ました。

参加された皆様、大変ご苦勞様でした。



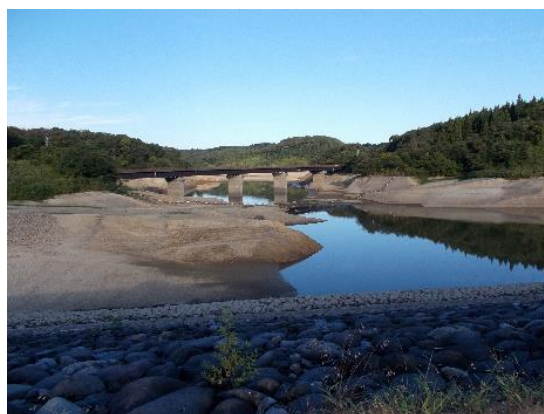
作業前の集合写真



管理棟下の法面での作



自慢できる程、綺麗になった



貯水率ゼロに近いダム

## 河北潟干拓地区(完了) 河北潟干拓地環境美化活動

令和5年6月3日(土) 午前8:00から石川県金沢市、津幡町ほかで行われた、グリーン・アース農地・水・閑居保全組織主催の河北潟干拓地環境美化活動に180人(うち会員18人)参加しました。

好天に恵まれた土曜日、干拓地堤防道路沿いに植栽された桜並木周辺の草刈りと幹線道路沿いのゴミ拾いを実施、組織の構成団体も多く従って参加者も多く幹線道路沿いのゴミ拾いもゴミが多いか沿道を歩く参加者が多いかと言われるくらい人並みが続いておりました。

草刈りも、河北潟周辺の消防分団からの参加者が、体力と技術に合わせ次々と草刈りを進めていき、我々が刈る桜の木を探すのが大変でした。

その結果、幹線道路も堤防道路もゴミ一つ、雑草1本も生えていないきれいな道になりました。

河北潟干拓地で生産される農産物も桜並木も生き活きと輝いていました。



続々と集まる参加者



作業前の集合写真

## 亀田郷一斉清掃活動

令和5年6月4日(日)午前9:00から亀田郷地区(地区内13箇所で同時に実施され、当会員は親松排水機場周辺に参加)で行われた、亀田郷不法投棄対策連絡協議会(事務局:亀田郷土地改良区地域課)主催の亀田郷一斉清掃活動に1,060人(うち親松排水機場周辺で120人、当会員は3人)参加しました。

急速に都市化が進行する亀田郷地区では、ゴミの不法投棄によって、地域環境の悪化や営農の支障となっております。特に住宅化が進んだ国営造成施設の親松排水場周辺では、施設能力の発揮や維持管理上の面から問題が顕在化しております。

この為、関係機関などで対策連絡協議会が結成され、平成16年から自治会組織やボランティア、地域住民によって地域内一斉の清掃活動が展開されて来ました。

当日は台風2号の影響で心配された天気ですが朝から晴天で、集合場所の親松排水機場前の公園には多くの参加者が集結しました。

コロナ禍で数年間中止されていた活動前段の全体集会を受けた後、早々に機場周辺並びに基幹排水路沿いの公道の清掃活動が行われました。

近年の美化意識の高まりもあり、ゴミの量は年々減少している様ですが、相変わらずコンビニ袋や、タバコの吸い殻そして、空き缶やペットボトルなどの生活ゴミの不法投棄が目立った状況でした。



久々の集会後の参加写真



会員



清掃活動の状況



活動成果



## 柏崎周辺地区(完了) 後谷ダム草刈り作戦

令和5年6月11日(日)午前8:00から新潟県柏崎市西山町別山で行われた、後谷ダムの地元・後谷集落主催の後谷ダム草刈り作戦に13人(うち会員4人)参加しました。

早朝から小雨が降る6月11日に後谷ダム(柏崎周辺地区)の草刈り作戦が実施されました。

当該活動はダムの完成を祝ってロウソクの灯でダムをライトアップする“万灯会(マントウエ)”前段作業として、平成20年に事業関係者及び地元住人などにより実施されて来ました。

地域に於いて夏の風物詩になった万灯会ですが、残念なことに平成27年に諸事情から中止に至り、前段作業の草刈り作戦も中止されました。その後、改良区からの要請もあり地元・後谷集落が施設管理の一環として春秋の2回草刈り作戦を集落活動として実施されて来ました。

この様な経過が有る中、職員 OB 組織の“彦三会”が平成25年より万灯会・草刈り作戦に参加して来ましたが、万灯会中止に伴い草刈り作戦から撤退されました。しかし、事業所勤務者など種々の立場・思いを持つ一部OB職員が、その後も集落が行う草刈り作戦を支援して来ており、昨年にはこの実績が評価されNPO田園21北陸支部の活動として正式に認定されるに至り、今回で節目の10周年の支援活動となりました。

作業当日は遠く石川県珠洲市から前泊で駆け付けた会員ほか NPO 会員計4名が参加しました。

作業は小雨で足元が悪い中の草刈りになりましたが、昼前には事故もなく無事に終了することが出来ました。



作業前の集合写真



綺麗な堤体斜



会員の作業状

## 坂井北部地区「耕作放棄地再生活動(保育園児との芋ほり)」

令和5年10月13日(金) 午前8:30から福井県あわら市二面地内で行われた、坂井北部土地改良区主催の坂井北部耕作放棄地再生活動に70人(うち会員は6人)参加しました。

坂井北部土地改良区は、平成21年度から高齢化等により耕作放棄された農地の再生を目的として関係機関に再生活動を呼びかけ、農地を活用して将来を担う子供達(保育園児)とともに作物の植付・収穫による農業体験を通じた情操教育の活動を行っております。

NPO 美しい田園21北陸支部は平成22年から本活動に参画しており、ここ数年のコロナ禍では参加する園児や NPO 会員の参加人数を制限してきましたが、今回の収穫活動では制限無しに活動することができました。

今回のさつま芋の収穫には、あわら市公立保育園の「あわら子供園」19名と「金津子供園」32名の5歳児たちが参加しました。大勢の園児の参加ということもあり、9時から「あわら子供園」、10時30分から「金津子供園」を対象としてダブルヘッダーによる収穫が行われました。



### 「あわら子供園」の園児たちと NPO 会員      金津子供園」の園児たちと NPO 会員

NPO 北陸支部からは6名が参加して、これまで培った農作業技術をフルに発揮し、園児たちが掘りやすいよう予めスコップで掘り起こしました。土を掘る音に混じり、さつま芋に当たる音も少しだけ聞こえたように感じましたが何とか作業を進め、その後に園児たちと一緒に楽しく芋ほりすることができました。

今年は記録的な猛暑が長く続いたこともあり、さつま芋の収穫量は平年の半分くらいでしたが、芋を持ち帰った園児たちは楽しく芋ほりしたことをご家庭で話されるでしょう。



芋ほりは楽しい思い出になったようですね

## 「河北潟一斉清掃活動」

令和5年10月21日(土) 午前9:00より、河北潟干拓地内の防風林帯で行われた、グリーン・アース農地・水・環境保全組織 河北潟水土里ネットかんとく主催の河北潟一斉清掃活動に河北潟干拓土地改良区関係 NPO 団体約150人(うち会員は17人)参加しました。

河北潟干拓地は、県都金沢近郊に位置する広大な農業生産地です。一方、地区内では約20kmにわたるクロマツ等の防風林や東部承水路沿いの約350本の桜並木により緑豊かで安らぎを与える地域共有財産としての美しい景観を有しています。

しかし、近年は周辺からのアクセス道路化により多くのゴミが不法投棄されるなど、環境保全だけではなく、農業生産にも悪影響を与えています。この美しい景観を保全管理するには多くの労力と時間が必要であり、農家だけの対応に限界があります。

このことから、干拓地を農業生産と地域環境の共有財産としてとらえ、地域と連携・協力して、この除草及び清掃活動を実施しております。参加された当会員の皆様、大変お疲れ様でした。清掃活動は地味ですが環境保全の大きな輪を広げるため来年も参加しましょう！



集合写



清掃作



作業終

## 西蒲原地区クリーン作戦

令和5年10月22日(日)午前9:00から新潟県西蒲原地区で行われた、水土里ネット西蒲原主催の西蒲原地区クリーン作戦に350人(うち会員12人)参加しました。

前日の大荒れの天気で開催が心配された第18回西蒲原クリーン作戦が10月22日(日)の曇空の下、新潟県・西蒲原地区内の6箇所で一斉に開催されました。

活動中の降雨が心配されましたが、各会場には活動開始の9時前に続々参加者が集結し、ここ七穂排水機場には約85名が集合しました。9時より主催寄りの挨拶、活動時の注意事項を受けた後、早速に機場周辺や排水路堤防(県市道)の清掃活動が展開されました。

近年の環境意識の高揚から収集されるゴミは以前に比べ少なくなったとは言え、相変わらずペットボトル、空き缶、タバコの吸い殻など生活ゴミがつつぎつつぎに回収されておりました。コロナ禍明けでマスク着用者は減少しているとは言え、家族連れや、子供の参加が少ないのがこの先気掛かりですが、参加者の熱意が感じられる地域貢献活動でした。



□活動前集合写真(七穂排水機場)



□主催者挨拶



□活動状況(七穂排水路)

## 4. 東海支部

## 明治用水地区明治本流水路の除草・清掃活動

令和5年9月21日（木）午前9:30から愛知県豊田市永覚町高根地内で行われた明治用水地区明治本流水路の除草・清掃活動に51名（うち会員43名）参加しました。

明治用水は、愛知県西三河地域を流れる用水路で、国営矢作川総合用水事業によって改修されました。改修を契機に側道も整備され、地域の人たちの通学や散歩などにも利用されています。

今回の実施個所は、夏の間、草が繁茂して水路の管理に支障があるばかりでなく、見通しが悪く景観を損ねていたため、除草を行うこととしました。

今年も「明治用水土地改良区建設協力会」と作業分担などを決めて清掃を実施しました。曇り空で作業がはかどり、昼前には無事作業を終えることができました。



作業前



作業後



集合写真

## 中勢用水地区大谷池調整池周辺の除草・清掃活動

令和5年10月3日(木)午前10:00から三重県津市河芸町三行地内で行われた、中勢用水地区大谷池調整池周辺の除草・清掃活動に36名(うち会員32名)参加しました。

大谷池調整池は、国営中勢用水土地改良事業(S47～H2)で造成された安濃ダムを水源としており、南北分水工から北部幹線水路、国営末端の調圧水槽を経由した県営河芸支線水路の中間に位置するため池です。

活動は、昨年引き続き、調整池の本堤、副堤の法面及び管理用道路周辺の除草・清掃作業を行うとともに、新たに中勢用水土地改良区が市から借用した竹破砕機を活用して、副堤周辺に繁茂する竹の処分を行うなど、昨年以上の成果もって、活動を無事に終えることができました。



作業前 (本堤天端部)



作業後



本堤除草状況



竹伐採状況



竹粉碎状況



集合写真



## 矢作川用水地区(西尾幹線水路)の除草・清掃活動

令和5年10月16日(月)午前10:00から矢作川用水地区西尾幹線水路(アイシン南エリア)の用水上部及び排水路周辺部で行われた、矢作川用水地区の除草・清掃活動に36名(うち会員33名)参加しました。

活動実施場所の西尾幹線水路(アイシン南エリア)は、新矢作川用水農業水利事業により老朽化した施設を改修した農業用水路です。改修による用水路の暗渠化によりゴミ投棄などの防止が図られましたが、排水路への土砂流入・暗渠化により雑草やツル草等の繁茂などにより景観が損なわれていました。また、景観に配慮し植えられたアジサイ脇の草も繁茂し、除草が必要になっていました。

朝のうちは、肌寒く感じる気候でしたが、快晴に恵まれ活動中は汗ばむ陽気の中での作業となりました。刈り取った草などは土地改良連合の協力のもと軽トラックで処理場に搬出しました。



後



## 西濃用水地区揖西幹線水路の清掃活動

令和 5 年 11 月 2 日(金)午前 9:50 から岐阜県安八郡神戸町地内で行われた、西濃用水地区揖西幹線水路の清掃活動に 32 名(うち会員 25 名)参加しました。

西濃用水揖西幹線水路は、国営西濃用水事業によって整備された、岐阜県西濃地域を流れる用水路です。

今回清掃活動を行った箇所では、並行する県道(河川堤防道路)から捨てられた紙屑・空き缶や水路沿いの雑木繁茂など、地元改良区の管理でも処理に苦慮している状況でした。

当日は秋晴れの中、通行車両に気を付けながら上流・下流の 2 班に分かれて、水路沿いの約 2 km の間に散らかったゴミを拾い集め、可燃物・不燃物に分別して、近くの集積場所に運び込みました。水路沿いの雑木伐採は重労働でしたが、参加者の協力によって時間内に終わることができました。

西濃用水地区の清掃活動は今回で 9 回目となり、地元にも周知されてきたことから年々ごみの量は減ってきているように思われます。



雑木伐採作業



雑木伐採作業



雑木処理作業



集合写

## 宮田用水大江排水路の除草・清掃活動

令和5年11月20日(月)午前9:30から愛知県一宮市大江排水路(緑道工区)で行われた宮田用水大江排水路の除草・清掃活動に83名(うち非会員49名)参加しました。

宮田用水路は、愛知県の濃尾平野を流れる用水路で、国営事業で用水路と排水路が分離され、用水路は管路化、排水路は大江排水路として地域排水を流入させて開水路で流下させています。今回の除草・清掃活動の範囲は、市街地を流れる大江排水路約2kmの水路内を清掃することにしました。大乘公園で集合した後、作業エリアを二班に区切り上流班は下流へ、下流班は上流へと清掃を行うことで作業の効率化を図りました。

左右岸の管理用道路には桜の木が植えられ、この地域の人達の散歩やジョギングコースとなっていますが、水路内清掃で大江排水路がきれいになったので、これからも地域の方々には気持ちよく散策ができるようになったことでしょう。



用水路敷地内の清掃



用水路敷地内の清掃



集合写真

## 宮川用水地区 斎宮調整池周辺の除草・清掃活動

令和5年 11 月 28 日(火)午前 10:00 から三重県多気郡明和町及び度会郡玉城町地内で行われた、宮川用水地区斎宮調整池周辺の除草・清掃活動に 57 名(うち会員 31 名)参加しました。

斎宮調整池は、国営宮川用水第二期事業(H7~24)で造成された貯水量 200 万 m<sup>3</sup>の調整池で、周辺は周回歩道が整備され、散策、ジョギング等の場として地域の方々からも愛されています。

本年度の活動も、昨年に引き続き、斎宮調整池及び施設用地周辺の広大な範囲に対して、堆積土砂撤去及び除草(草刈り)・清掃を行いました。

当日は、曇天とはいえ晩秋とは思えないほど暖かく、汗ばみながらの作業となりましたが、4班に分散して効率的に作業を行い、微力ながら地域の環境保全に貢献することができました。



施設用地・法面、道路沿いの草刈り



第2副堤洪水吐部の堆積土砂撤去



採取土砂の集積・運搬



集合写真

## 5. 近畿支部

### 第 33 回 丹後国営大クリーン作戦

令和5年5月27日(土)午後1時から京都府京丹後市網野町(丹後東部地区 郷1団地、島津5団地)で行われた、第 33 回丹後国営大クリーン作戦に21名(内会員 8名)参加しました。

この活動で、郷1団地、島津5団地の支線道路草刈り作業及び集積作業、道路沿いのゴミ拾い活動を実施しました。

「支線道路の草刈り作業、集積作業」



「道路沿いのゴミ拾い活動」



## 第 14 回余呉湖外来魚駆除釣り大会

令和 5 年6月 4 日(日) 午前9時から余呉湖(滋賀県長浜市余呉町)で行われた、水土里ネット湖北主催の第 14 回余呉湖外来魚駆除釣り大会に 177 名(うち会員 58 名)参加しました。

余呉湖は琵琶湖の北部に位置する天然湖で、国営湖北土地改良事業(昭和 40 年～昭和 62 年)により、農業用水ネットワークの中心として再開発が行われた湖。余呉湖には多数の固有種が生息するなど学術的にも貴重であるが、ブルーギル、ブラックバス等の外来魚が異常繁殖し、固有種や在来種が減少。このため、外来魚駆除対策の一環として、毎年、外来魚を釣りによって駆除する本大会を開催。本大会は、釣り上げた外来魚の重量を競うもので、当日は、家族連れも含め 177 名の参加があり、駆除した外来魚の総重量は約 67kg でした。



## 『大和高原北部地区』環境美化運動

令和5年6月10日(土)9:00から上津ダム及びダム湖周辺(奈良県山辺郡山添村)で行われた大和高原北部土地改良区主催の環境美化運動に201名(うち会員6名)が参加しました。

新型コロナが5類に引き下げられたとはいえ、感染者が増加傾向にあり、感染拡大防止の取組みが引き続き求められていることから、挨拶、作業説明、集合写真等を省略し、受付を済ませた後、各々割り当てられた作業場所へ移動し作業が始まりました。

当日は、草刈り作業に適した曇天の下、例年から規模を縮小して、右岸部のダムサイト法面、管理所周辺、公園等の繁茂した草刈り作業でしたが、手慣れた人力により時間内に作業を終了することが出来ました。

清掃作業でたつぷりと汗をかいた後、飲みの中に旨味がある「やまと茶」等を美味しくいただきました。



ダム右岸法面草刈り作業状況



土舞台公園草刈り作業状況



管理所周辺草刈り作業状況



集積作業状況



## 令和5年度「北淡路地区 クリーン活動」

令和5年6月17日(土)午前10:00から常盤ダム(堤体法面、湖畔、揚水機場、周辺道路、親水公園)で行われた水土里ネット北淡路主催の北淡路地区クリーン活動に91名(うち会員9名)参加しました。

常盤ダムは、北淡路農地開発事業により造成された施設で、ダム湖周辺の造成団地では、ブドウ栽培が盛んに行われています。本活動は今年で10回目となります。梅雨中ですが当日は晴天に恵まれ、午前中の短い時間参加された皆さんは5班に分かれて各施設の草刈りに汗を流しました。作業終了後、参加された方々全員が親水公園東屋に集合して、主催者から設置後の太陽光発電施設の効果等について環境学習を受けました。



門理事長挨拶



参加者集合写真



参加者による草刈り作業



参加者全員による環境学習

## 第10回 亀岡地区 施設管理支援活動

令和5年8月27日(日) 9:00より亀岡市河原林町四ノ宮池(下池)で行われた、亀岡市川東土地改良区主催の亀岡地区施設支援活動に21名(うち会員18名)参加しました。

昨年に引き続き「下池」の草刈作業で、当日は最高気温35℃になるとのことで、熱中症対策として水分補給と休憩を長く作業時間も2時間としました。

作業では参加者全員が草刈機を使って、女性の参加者も同様に作業をして頂きました。今年は「上池」の草刈作業は地元自治会の方々により実施され、合同作業となりました。ため池法面の草は雨が多かったことで、昨年に比べて生育が良く大変な作業となりました。休憩の間では地元関係者からお礼のお話がありました。事故もなく予定通りの時間で作業が完了することができました。



草刈作業中



草刈作業中



草刈作業中



草刈完了

## 令和5年度第2回吞吐ダム桜並木「水土里の路」公園管理作業

令和5年9月9日(土) 午前 9:00から吞吐ダム(桜並木「水土里の路」公園保全の草刈り)で行われた東播用水「水と緑の交流」実行委員会(水土里ネット東播用水、川代ダム域水管理協議会他)主催の吞吐ダム桜並木「美土里の路」公園管理作業に88名(うち会員65名)参加しました。

東播用水「水と緑の交流」実行委員会は、国営東播用水事業の完了(平成4年度)を契機として、事業の意義と効用について広く地域住民への理解を深め、水源地域の人々と、水を利用する人々の交流の促進を図ることを目的として発足し、桜並木「水土里の路」公園管理作業が行われています。閉会にあたって実行委員会の会長である水土里ネット東播用水の理事長から、「ダム堆砂土の浚渫場所であったこの場所を交流の場として再生するため、当時の国や県等の担当と議論して今の桜並木になった。」と経緯の紹介がありました。気候変動による異常気象が毎年のように発生しているなか、ダム等の水源施設は利水だけでなく流域治水の役割も担っています。来春も桜並木が満開となることを祈念しています。



## 令和5年度 愛知川地区 永源寺ダム湖岸クリーン作戦

令和5年10月13日(金)午後1:30から永源寺ダム湖岸(右岸網場上流部)で行われた、愛知川沿岸土地改良区主催の愛知川地区永源寺ダム湖岸クリーン作戦に218名(内会員74名)参加しました。

今年も天候に恵まれ多くの参加者による活動となりました。永源寺ダム水位も作業するには最適な所まで下がっていた。今年の流木の漂着状況は網場からダム堤体の間は無くて、作業は網場上流部のみとなり、太い大きな流木は標高の高いところに集中していた。木の根が付いた流木も多く、短く切断しても運搬するには重すぎることから、転がして集積位置まで搬出していた。湖面まで搬出した流木は焼却して作業が終了しました。



作業着手前(流木漂着状況)



流木搬出作業状況



流木焼却作業状況



作業終了後

## 令和5年度 一の木ダム周辺クリーンアップ作戦

令和5年11月11日(土) 午前9:00から一の木ダム周辺(ダム堤体周辺、周回道路、貯水槽)で行われた、五條吉野土地改良区・五條吉野基幹水利施設管理協議会主催の一の木ダム周辺クリーンアップ作戦に86名(内会員50名)参加しました。

活動内容は、例年の作業(ダム左岸法面の草刈、ダム天端の清掃、周回道路のごみ拾い)に貯水槽の清掃作業を新たに追加して行いました。前日の雨による足元の悪い中、多くの方に参加していただきそれぞれの活動に汗をかきながらの作業となりましたが、概ね時間内にすべての作業を無事終えることが出来ました。作業後は、柿選果場に立ち寄り、五條市特産の柿をお土産にされる方も多くいました。



ダム左岸法面の草刈り



貯水槽の清掃



ダム天端の清掃



周回道路のごみ拾い

## 東播用水水源地里地・里山保全活動 in 西紀 2023

令和5年11月18日(土) 午前9:00より兵庫県丹波篠山市西谷地区内天満神社付近の里山で行われた、東播用水土地改良区(共催:東播用水水源地域景観・環境保全隊(東播用水水利調整協議会))主催の東播用水水源地里地・里山保全活動 in 西紀 2023 に29名(うち会員9名)参加しました。

この活動は、上流・下流の交流を目的に、下流の自治体や土地改良区の職員等が、東播用水地区の水源地域保全活動に協力する11年目の活動となった。

竹の伐採作業は、倒木を伴う危険な作業なので、NPO法人の指導者を班長に3班編成を行い、大きく成長した孟宗竹の手鋸伐採⇒人力引き出し⇒切断・集積作業⇒伐採した竹のチップ化⇒森再生のための苗木作成を行った。

作業内容説明



伐採作業



切断作業



伐採した竹のチップ化



## 第 21 回余呉湖クリーンアップ作戦

令和 6 年 3 月 16 日(土) 午前 10 時から余呉湖(滋賀県長浜市余呉町)で行われた水  
土里ネット湖北主催の第 21 回余呉湖クリーンアップ作戦に 79 名(会員 30 名)参加しました。

余呉湖は琵琶湖の北部に位置する天然湖で、国営湖北土地改良事業(昭和 40 年～  
昭和 62 年)により農業用水ネットワークの中心として再開発が行われた湖。美しい景観な  
どから 多数の観光客が来訪するが、湖岸等へのゴミの不法投棄が問題となっており、毎年、  
湖岸(周囲 6.4km)等において、関係団体と協力し、ゴミ収集活動に取り組む。今年度は全  
79 名の参加があり、環境改善にも寄与する有意義な活動であることから、今 後も継続して  
いく方針。



(集合写真)



(湖岸でゴミ等収集活動状況)

## 巨椋池地区排水路周辺クリーン活動

令和6年3月12日(火) 午前9時から京都府宇治市填島町巨椋池干拓地幹線排水路で行われた巨椋池水辺プロジェクト、巨椋池土地改良区主催の巨椋池地区排水路周辺クリーン活動に64名(会員57名)参加しました。

国営第1号の干拓事業として戦前に実施された巨椋池干拓地は京都市の南に広がる田園地帯にあり、北隣には「燕のねぐら」として知られる淀川河川敷もあり、野鳥も多数見られる憩いの空間です。

活動は少雨決行で案内は致しましたが、当日は天気予報の予報どおりの雨でかなり強めの雨となりましたが、会員57名の方に参加頂きました。作業中止も考えましたが、折角お集まりいただきましたので参加者の安全を考え、作業は水路兩岸の道路部分のみと活動範囲を縮小しての作業としました。それでもビン、缶、ゴミ等多数拾うことができました。





## 6. 中国四国支部

## 2023 春季中海干拓地クリーン作戦(揖屋工区)

令和5年6月3日(土)午前 8:30 から揖屋干拓地内で行われた、揖屋干拓営農協議会、揖屋干拓水土里ネット主催の2023 春季中海干拓地クリーン作戦(揖屋工区)に187名(うち会員33名)参加しました。

令和2年度より新型コロナウイルス感染防止のため中止されていた活動が4年ぶりに開催されました。本干拓地では、キャベツや津田カブを始めとした農作物を生産されるだけでなく、ふれあい農園としても活用され、市民に憩いと安らぎを与える機能も兼ね添えています。一方、地区内の道路は、近隣市民の生活道路と使用されていることから、空き缶やプラスチックごみ等投棄がみられ、排水機場等にごみが集中し、地区内排水を担う土地改良施設の管理に支障が生じています。このような状況から、春・秋年2回の清掃活動を行っています。



開会式



参加者によるゴミ拾い



回収ゴミ



参加したNPO会員

## 面河ダム清掃活動(第1回)

令和5年7月22日(土)午前9:30から面河ダムで行われた、道前道後土地改良区連合主催、愛媛県久万高原町協力の面河ダム清掃活動に123名(うち会員76名)参加しました。

絶好の天候に恵まれた土曜日の高原町の朝は、すがすがしい気分にさせてくれました。主催者から、①草刈り機の作業範囲に入らないこと、②まむしに注意すること、③水分補給をしっかりとること等の諸注意のあと清掃活動を開始しました。清掃は、立ち退きをされた住民の方々が、盆踊りや花火大会に使用していた、お祭り広場や広く一般の方が利用する運動広場、キャンプ場等多目的なブロックに分かれ、心地よい汗をかきました。



開 会 式



参加者の集合写真



作業状況



参加したNPOメンバー

## 2023 中海干拓地「安来工区」クリーンアップ作戦

令和5年10月7日(土)午前9:00から中海干拓地「安来工区」で行われた、安来中海干拓営農連絡協議会及び安来市土地改良区主催の中海干拓地「安来工区」クリーンアップ作戦に74名(うち会員34名)参加しました。

安来工区は島根県東部の安来市に位置し、国営中海土地改良事業として造成された干拓地のひとつ。他に揖屋工区、弓浜工区、彦名工区がある。

干拓地内では、「やすぎランニングフェスティバル 2023」が開催予定であり、関係機関と共同で、清掃活動を行いました。清掃範囲は、干拓地内全域と広範囲なため、参加者を団体ごとの4班に分け、草刈り作業、ごみ拾い作業を行いました。

このクリーン作戦は、平成17年より営農者が中心となって清掃活動を始め、今年で17年目となりますが、今年も、ごみの投棄が思ったほど多くなく、この活動が地域に理解されてきている証ではないかと感じました。



開会式



作業状況



集積したゴミ袋



参加したNPOメンバー

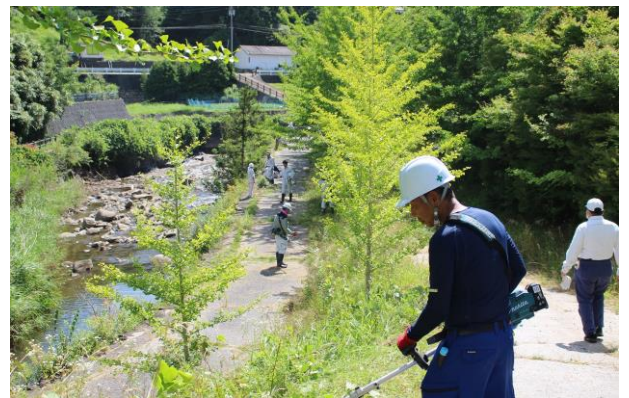
## 面河ダム清掃活動(第2回)

令和5年10月7日(土)午前9:00から面河ダムで行われた、愛媛県久万高原町 主催、道前道後土地改良区連合協力の面河ダム清掃活動(第2回)に51名(うち会員22名)参加しました。

今年第2回目の面河ダム公園周辺の清掃活動に参加しました。清掃は、お祭り広場、運動広場、キャンプ場等のブロックに分かれ、延べ面積は1ha以上ありますが、参加者は草刈り機及び鎌で清掃活動を行いました。通常なら面河ダム周辺(面河溪谷)は紅葉が始まってもいいのですが、残念ながらまだ紅葉は見られませんでした。



開会式



作業状況



作業状況



参加したNPOメンバー

## 笠岡湾干拓地の清掃活動

令和5年 10 月7日(土)に干拓地で行われた、笠岡湾土地改良区主催の笠岡湾干拓地の清掃活動に 500 名(うち会員 44 名)参加しました。

本清掃活動は、今年で 15 回目を迎えます。今年の開会式は「ふれあい空港(農道空港)」で開催され、多くの参加がありました。干拓地は昭和41～平成元年度に農地(畑)と工業用地が造成された生産の場のほか、公園や道の駅等が整備され地域の方々に親しまれています。また、毎年開催される「笠岡べいふあーむ駅伝大会」のコースを中心に清掃活動を行い、心地よい汗をかきました。

また、干拓地の排水を担っている寺間排水機場は、改修事業が進められています。



開会式 (全景)



開会式(NPO会員)



ゴミ拾い状況(1)



ゴミ拾い状況(2)

## 2023 秋季中海干拓地クリーン作戦(揖屋工区)

令和5年11月4日(土)午前8:30から揖屋干拓地内で行われた、揖屋干拓営農協議会、揖屋干拓水土里ネット主催の2023 秋季中海干拓地クリーン作戦(揖屋工区)に87名(うち会員23名)参加しました。

本NPOは揖屋干拓地土地改良区と維持管理協定を結び、協力体制をとって干拓地の維持管理体制の整備に取り組んでいます。

当日は、朝から天気にも恵まれ、心地良い日和でした。清掃活動後、参加者により、今年の春に植えた「サツマイモ」の収穫と、来年の春に収穫する「玉ねぎ」の植え付けを行いました。



開会式



参加者によるゴミ拾い



回収ゴミ



参加したNPO会員

## 七区小学校出前授業

令和5年10月10日(火) 午前9:00から小学校をスタートし、児島湖流域の用排水機場や用水路、干拓堤防を見学する児島湾七区土地改良区主催の七区小学校出前授業に4年生児童22名他教諭2名、七区土地改良区2名、南区役所2名、NPO会員5名参加しました。

21世紀土地改良区創造運動の一環として、地元小学生に既存する農業用施設を見学するとともに干拓の歴史等を学び、自分たちが住んでいる七区について知識を深める目的で、出前授業を行った。なお、この小学校は岡山市中心部に近く混住化が進んできており、非農家の児童も相当数いるとのこと。

児童たちは、干拓の歴史は古く、江戸時代から順次行われていたことや昔の堤防を見てびっくりするとともに、これらの施設を土地改良区の人たちが一生懸命に管理していることを熱心に学んでいました。



出発前の挨拶



用水機場での見学



熱心に聞き入る児童



集合写真



## 農村災害ボランティア活動について

令和5年10月19日(木)午前10:00からうしおの沢池及び流域にある水源林で行われた、島根県土地改良事業団体連合会・沢池整備委員会主催の農村災害ボランティア活動に60名(NPO会員2名)参加しました。

平成22年農林水産省のため池百選に選定された「うしおの沢池」周辺の水源林保全活動として、ため池周辺と植栽地の草刈り作業を行いました。

うしおの沢池周辺を地域住民と都市住民の憩いの場とした、水辺の森として整備する保全活動が14年前から行われており、いろんな生き物がたくさん生息するように、ブラックバスを駆除し、テナガエビ、アマサギなどが放流されています。



開会式



草の運搬



山王寺の棚田



集合写真

## 令和5年度児島湖流域清掃大作戦

令和5年11月5日(日)午前8:30から児島湖締切堤防会場他6箇所で行われた、児島湖流域環境保全対策推進協議会主催、(公財)児島湖流域水質保全基金、(公財)岡山県環境保全事業団共催の令和5年度児島湖流域清掃大作戦に2,308名(うち会員184名)参加しました。

児島湖流域の環境保全を推進いくことを目的に、毎年9月から11月を「児島湖流域環境保全推進期間」と定め、この期間の主要行事として、流域住民の理解と協力のもと、岡山県、国、流域関係市町(岡山市・倉敷市・玉野市・総社市等)、民間団体等が一体となり、児島湖及び流入河川等8箇所において一斉清掃等を実施し、県民の意識高揚を図ることとしています。実施日は、毎年11月の第一日曜日とされており、今年で37回目となります。

収集されたゴミは、約8トンでした。



開会式



開会式(NPO会員)



作業状況



参加したNPO会員

## 奥出雲おろちシンコウ支援活動(第1回)

令和5年7月23日(日)午前 9:00 から国営横田開拓 八川第4団地で行われた、地元農家及び本NPO主催の奥出雲おろちシンコウ支援活動に17名(うち会員16名)参加しました。

この活動は、耕作放棄地対策に取り組んでいる団地において、蕎麦の種まき作業と周辺の草刈作業を行うものです。当日は早朝から快晴で、うだるような暑さの中の作業となりましたが、無事所定の作業を終る事が出来ました。



蕎麦の種まき



種の攪拌



草刈り状況



参加したNPOメンバー

## 奥出雲おろちシコウ支援活動(第2回)

令和5年9月3日(日)午前9:00から国営横田開拓 八川第4団地で行われた、地元農家及び本NPO主催の奥出雲おろちシコウ支援活動(第2回)に17名(うち会員16名)参加しました。

今回の活動は、7月23日に種まきした蕎麦畑の除草作業等です。蕎麦の茎丈は1m程度となり順調に生育しています。また、一面可愛い花畑に癒された1日となりました。

10月には美味しい蕎麦の実が収穫出来る予定です。



除草作業



除草作業



蕎麦の花



参加したNPOメンバー

## 7. 九州支部

## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第1回)

令和5年6月3日(土)午前8:30より、熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動12名(うち会員5名)参加しました。

この活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、田植え準備も進み田園景観が維持されているところです。

今回の作業は、昨年秋にも実施した遊水地内約4,000㎡の刈り払い機による草刈りでした。現場は、凸凹でぬかるんでおり、足元の安全にも十分注意しながらの作業となりました。草刈り作業では葦にツルが絡んでいたことから、二段切等の職人技や時によっては力技が必要となり、梅雨の晴れ間の朝からの作業で水分補給をしながらの汗だくでした。

草刈りして綺麗となった後には、堤防の上から出来上がりを想像しながらテープで模って「花」という字をコスモスで作りました。秋の楽しみが一つ増えたところです。



小休憩の合間で



背丈より高い葦の刈り取り



ラストスパート



遊水地公園で咲いていた花

## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第2回)

令和5年7月19日(水)午前7:30から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた、「高平台校区坪井川遊水地の会」主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第2回)に13名(うち会員7名)参加しました。

遊水地の堤防は、高平台校区坪井川遊水地の会の手により除草、花の植栽等の環境整備により守られてきました。今回は、13名が参加し、堤防に繁茂したマリーゴールドを手作業で株分けし、裸地になっている場所(延長約50m)に移植しました。

雨が予想され蒸し蒸しとした環境の中でしたが、汗を流しながら、慣れない鍬やスコップを使い、裸地をカバーすることができました。数週間後には、美しい花を見ることができそうです。

参加者の集合状況



株分け畝たて作業状況



植付け作業状況



移植作業完了



### 坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第3回)

令和5年8月29日(火)午前 7:00より熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第3回)に7名(うち会員4名)参加しました。

この活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。

遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、今、出穂を向かえ、十月の収穫を待っているところです。

作業は、今年6月にも実施した遊水地内約4,000㎡の刈り払い機による草刈りで、現場は、凸凹でぬかるんでおり、足元の安全にも十分注意しながらの作業となりました。

今回は、草刈り作業が初めての参加者もあり、ベテランの安全指導の元実施しました。早朝からの作業でしたが、終了する頃は気温も32℃を超える暑さで、体力の限界を感じながらの作業となりました。

休憩の差し入れで戴いたアイスが、何よりもおいしく、体を冷やしてくれました。



作業開始前の集合



葎の刈り取り作業



草刈り機の安全作業指導



作業の完了



## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第4回)

令和5年10月5日(木)午前 8:00から熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第4回)に15名(うち会員11名)参加しました。

本活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するもので、遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり田園景観が維持されているところです。

この坪井川遊水地で、フェンスに絡まる葛等を取り除く作業等を行いました。ツル系の草や竹(笹)等が絡まり、作業は時間がかかるところでしたが、今回は参加者が多かったこと、皆さん休憩時間もそこそこに作業を行って頂き、想定より早く終わりました。

その後、遊水地と進入路に挟まれた椿等の植栽地で、草刈り機が使えない大きな石の間を手刈りで草取りを行いました。

当日は天気にも恵まれ、会員が植え替えたガーベラやコスモスが咲き誇り、秋風が心地よい清々しい1日でした。

参加者の集合状況



作業状況



作業完了状況



堤防敷きのコスモス等



## 坪井川遊水地公園環境整備支援活動(第5回)

令和6年2月14日(水) 午前9:00より熊本市北区高平地区(2級河川坪井川遊水地内)で行われた、高平台校区坪井川遊水地の会主催の坪井川遊水地公園環境整備支援活動に15名(うち会員7名)参加しました。

この活動は、熊本市を流れる坪井川の遊水地内(元水田)にある公園の景観整備・遊水地の保全に取り組んでいる地元自治会活動を支援するものです。遊水地下流には石塘堰からの引水で約300haの水田が広がり、都市化の中でも田園風景が維持されているところです。

作業内容は、昨年から継続している遊水地内に広がる枯れた葦を刈り払い機による刈取り作業とマーガレットと肥後菖蒲が咲く花壇の整備でした。

刈り取り作業の現場は、凸凹でぬかるんで足元を取られることもあり、安全に十分注意しながらの作業となりました。また、花壇の整備は雑草と花の球根を全て掘り起こして仕分けする作業となり、粘土質の土と相まって鍬やスコップを持つ手に力が入る想定外の肉体労働で汗いっぱいの作業でした。



作業開始前の集合



葦の刈り取り作業



花壇の整備作業



河津桜が見ごろ

## 旧玉名干拓施設(明丑・末広潮受堤防)の草刈り活動

令和5年10月28日(土)午前7:00から旧玉名干拓施設(明丑・末広潮受堤防)(熊本県玉名市)で行われた、横島町文化財保存顕彰会主催の旧玉名干拓施設の草刈り活動に約340名(うち会員136名)参加しました。

旧玉名干拓施設は、明治20年代以降に築かれ、大正期及び昭和初期に発生した潮害後に、熊本県を中心として復旧、改造された海面干拓施設です。施設は、<sup>すえひろびらき</sup>末広開、<sup>めいぢゆうびらき</sup>明丑開、<sup>めいほうびらき</sup>明豊開及び<sup>だいほうびらき</sup>大豊開の4所の潮受堤防がほぼ連続的に築かれ、総延長は5.2kmにも及び、国の重要文化財にも指定されています。

本年度は、同施設の西側の明丑潮受堤防・末広潮受堤防(2.8km)を対象に、除草作業が行われました。

今年はコロナウィルス感染症の5類感染症移行に伴い、コロナ禍前と同様の通常開催となりました。参加者は早朝から集合し、各自持参した草刈り機、鎌などで、旧堤防に生えた雑草や雑木の除去、ゴミ拾い等を行いました。作業は秋晴れの空のもとで無事に済み予定時間内(9時まで)に対象範囲の草刈り活動を終えることが出来ました。

参加者の集合状況



草刈り作業状況



草刈り作業状況



草刈り作業完了



## 天神ダム周辺(千本さくら等)環境整備活動

令和5年11月18日(土) 午前8:00より宮崎県の天神ダム周辺(千本さくら等)で行われた、大淀川右岸地区管理体制整備推進協議会主催の天神ダム周辺環境整備活動に260名(うち会員49名)参加しました。

この活動は、天神ダム周辺に植栽されている“千本さくら”の管理作業を実施し、天神ダムの良好な景観の保全ならびに水源のかん養を図ることを目的に、毎年開催されていましたが、令和3年から令和4年は新型コロナウイルス感染防止のため、中止となり今年度は3年ぶりの開催となりました。当日は朝方雨が降りましたが作業を開始する頃には雨も上がり寒いながらも絶好の作業日和となり、桜の樹周辺の下草刈り等を行いました。来年3月下旬頃には、満開のさくらの花を見ることができると思います。

参加者の集合写真



草刈り作業状況



草刈り作業状況



作業終了(同上)



## 農業体験の支援活動に参加

令和5年11月5日(日)、宮崎県都城市高城町において多面的機能支払交付金に取り組んでいる『横原「水・土・里」を守る会』主催による横原地区小学校子供会を対象としたサツマイモの収穫作業や稲の脱穀作業が行われ、NPO 法人「美しい田園 21」九州支部からも都城市在住の3名が支援活動として参加しました。

この活動は子供会の児童が農業体験しながら地域住民と交流を図る目的で実施されています。これまでは保護者同伴のもと昔ながらの手植えによる田植え作業をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から近年は中止せざるを得ない状況でした。このため、本年度は近くの畑で栽培されたサツマイモの収穫作業と、『横原「水・土・里」を守る会』役員が掛け干した稲の脱穀作業を経験してもらうことにしました。

当日は、天候もよく児童、保護者、役員及びNPO 法人「美しい田園 21」会員合わせて約30名が参加し、汗をかきながらの作業ではありましたが、初めてサツマイモを収穫した児童たちは保護者と記念撮影を楽しむとともに、米の脱穀作業では興味深く作業に参加していました。児童らの歓声とともに地域の皆さんとの触れ合いができ楽しい農業体験になったようです。

### 参加した児童・保護者の集合写真



サツマイモの収穫作業状況



稲の脱穀作業状況

